



Title	大学の知を発信する：デジタルリポジトリとその周辺
Author(s)	土出, 郁子
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/14136
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大学の知を発信する: デジタルリポジトリとその周辺

平成22年度愛媛大学図書館学術講演会
2011.02.14 @愛媛大学図書館 4F3閲覧室

土出郁子(大阪大学附属図書館学術情報整備室)



もくじ

- 機関リポジトリとは何か
- 共同リポジトリ (ShaReの報告書から)
- 機関全体の事業とするために
- 業務の実際
 - ー ちょこっとしくみ
 - ー 著作権

機関リポジトリとは何か



機関リポジトリとは何か

物理的には：

- ☑ Webサーバ + DB + リポジトリシステム
- ☑ OAI-PMHに対応
- ☑ 本体(object)とメタデータとを格納
- ☑ メタデータのみSPにハーベストされる
- ☑ システムには世界共通のものもある

機関リポジトリとは何か

ひとまず

後回しでOK

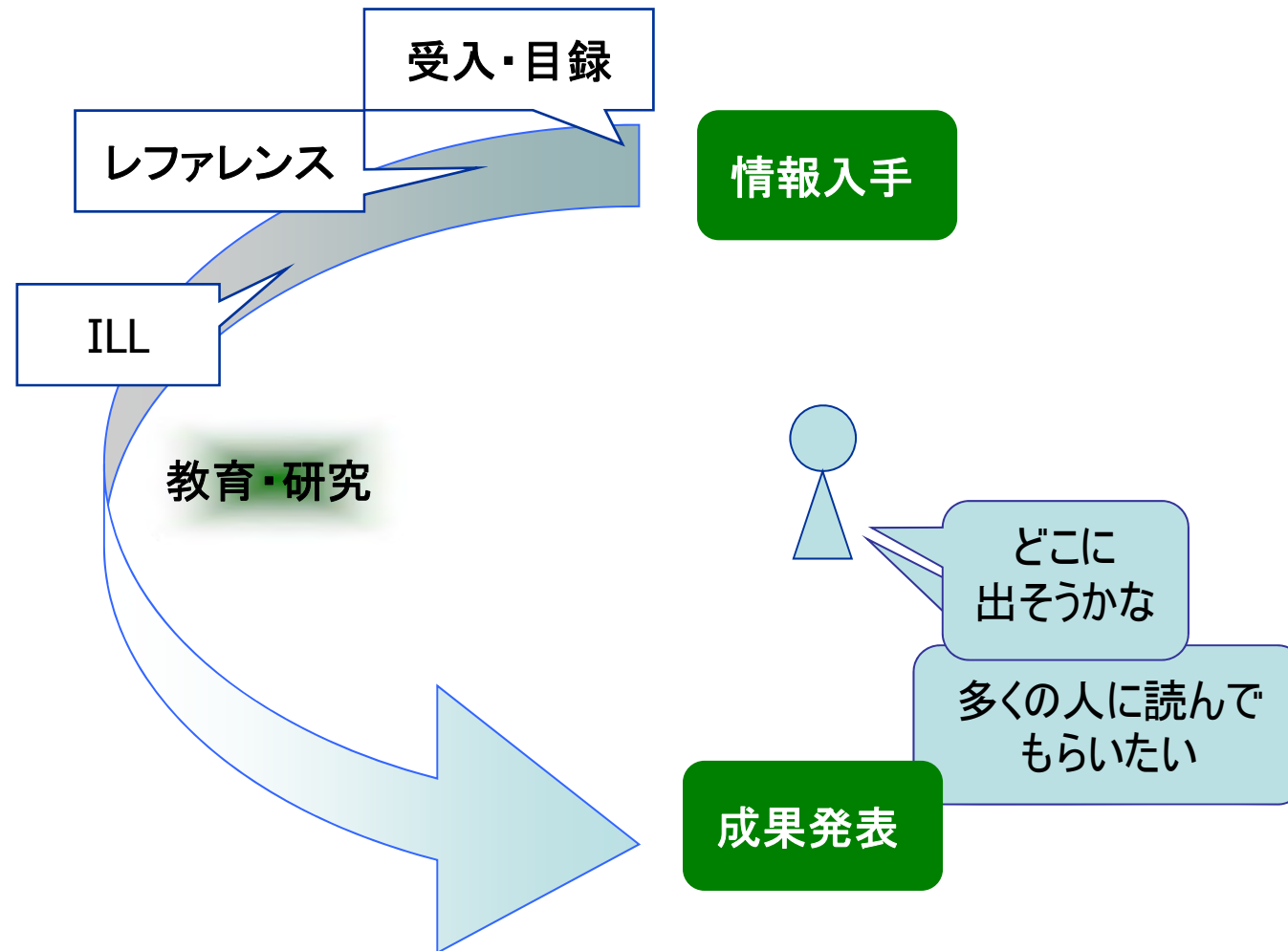
機関リポジトリとは何か

意義は：

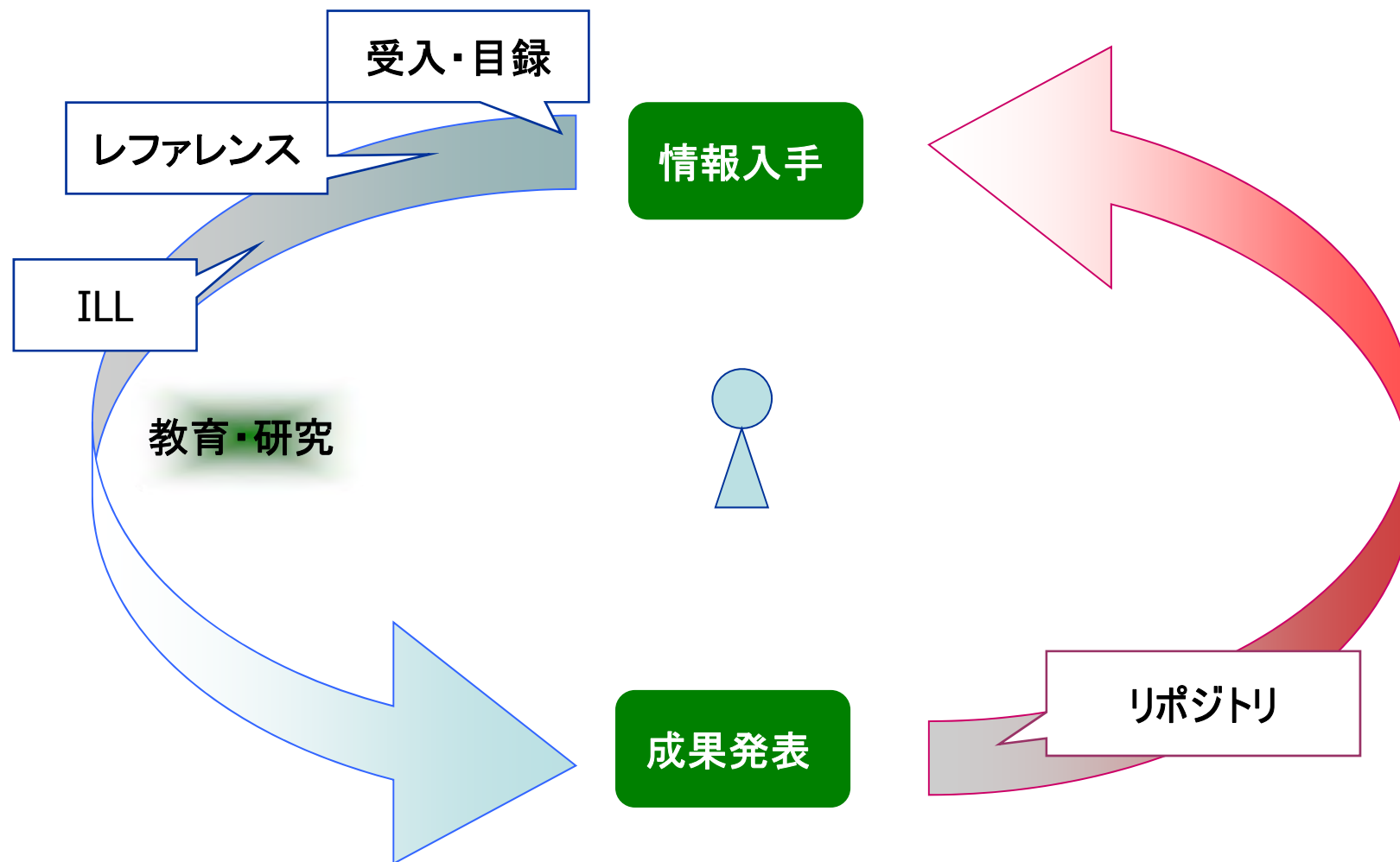
- ☺ 機関内の**学術成果**（教育・研究）を集めて**発信**
- ☺ Web上で電子的に提供
- ☺ **無料**，**本文**まで利用可，**永続的**
- ☺ 機関内の**発信者のためのサービス**

発信者は
誰だ？！

とある先生のサイクル



Repository **helps** you



ホーム	インターフェイスの 人文学について	最新情報	研究集合 フォーラム	特集	その他の活動	Login
-----	----------------------	------	---------------	----	--------	-------

Interface Humanities

全学大学院生のた
Newsletter

大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの人文科学」は
2007年3月31日をもって補助金交付期間が終了いたしました。

シリーズ「科学と社会」

インターフェイスの人文科学とは

研究テーマ

- トランスナショナリティ研究
- 世界システムと海域アジア交通
- イメージとしての〈日本〉
- 言語の接触と混交
- モダニズムと中東欧の藝術・文化
- 臨床と対話

とあるプロジェクトの運命

[more info](#)

Topics

- ??????????????????????at????????????????? (3.?????????)
- 785????????????????????? (1.?????????)
- ?????????????? (2.?????????)
- 784????????????????????? (1.?????????)
- ?????????????????????????????? (3.?????????)
- 2006779?????????????????????(MCE)??? (5.?????????)

[お問い合わせ](#) | [リンク集](#) | [FAQ](#) | [旧作業用ページ\(学内限定\)](#)
[Page Top](#)

大阪大学21世紀COEプログラム インターフェイスの人文科学 文学研究科・人間科学研究科・言語文化研究科
Copyright © 2002-2007 Interface Humanities

ホーム

インターフェイスの
人文学について

最新情報

研究集合
フォーラム

特集

その他の活動

Login

Interface Humanitie

インターフェイスの人文学とは

リーダーごあいさつ

研究概要

21世紀COE科目

研究テーマ紹介

参加メンバー

「研究集合」宣言

お問い合わせ

全学大学院生のた

Newsletter

大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの
人文学」
2007年3月31日をもって補助金交付期間が終了

Error!

ファイルがありません。

Error 404

[文学研究科のTOP pageへ](#)
[サイトマップへ](#)

とあるプロシ

Topics

- ??????????????????????at????????????????? (3.?????????)
- ?85????????????????????? (1.?????????????)
- ?????????????????? (2.?????????????)
- ?84????????????????????? (1.?????????????)
- ?????????????????????????????? (3.?????????)
- 2006??9?????????????????????(MCE)??? (5.?????????????)

お問い合わせ | リンク集 | FAQ | 旧作業用ページ(学内限)

大阪大学21世紀COEプログラム インターフェイスの人文学 文学研究科・人間科学研究科・言語文化研究科
Copyright © 2002-2007 Interface Humanities

Repository **saves** you



大阪大学21世紀COEプログラム

「インターフェイスの人文科学」報告書 2002-2006

2002-2003年度

1. 岐路に立つ人文科学 鷺田, 清一 他
2. 場を越える流れ (トランスナショナリティ研究) 小泉, 潤二 他
3. シルクロードと世界史 森安, 孝夫 / 坂尻, 彰宏
4. イメージとしての「日本」: 日本文学翻訳の可能性 伊井, 春樹
5. 言語の接触と混交: 日系ブラジル人の言語の諸相 工藤, 真由美 他
6. 映像人文学 山口, 修 他
7. 臨床と対話: マネジできないもののマネジメント 中岡, 成文 他

2004-2006年度

1. 岐路に立つ人文学 鷺田, 清一 / 中岡, 成文
2. 人文学討議空間のデザインと創出 若手研究集合
3. トランスナショナリティ研究 小泉, 潤二 / 栗本, 英世
4. 世界システムと海域アジア交通 桃木, 至朗
5. イメージとしての「日本」 伊藤, 公雄 / 金水, 敏
6. 言語の接触と混交: 工藤, 真由美 他
7. モダニズムと中東欧の芸術・文化 園府寺, 司
8. 臨床と対話 中岡, 成文

2005年度(若手研究集合)報告書 (若手研究集合)報告書編集委員会

臨床と対話: 第5回対話シンポジウム 稲葉, 一人 / 家高, 洋

越境/モダンアート 園府寺, 司

Interface Humanities Data Book 2004-2006

何を入れるか

- 機関の教育・研究成果ならなんでも
 - － 既に他で出版・流通されているもの
 - 学術雑誌論文
 - 一般雑誌論文
 - 紀要
 - 単行書
 - ：

何を入れるか

- 機関の教育・研究成果ならなんでも2

－ いわゆる「灰色文献」

- 学位論文(博士, 修士)
- 学会・シンポジウムの予稿集, 資料, 会議録
- 学内研究プロジェクト報告書, 関連資料
- 科研費報告書

:

何を入れるか

- 機関の教育・研究成果ならなんでも3
 - － 従来の出版流通にのらなかったもの
 - 学際領域の新規ジャーナル
 - 教材, テキスト
 - 出版社から「採算が取れないので出せない」といわれた専門書
 - ：

日本の学術情報政策

- 2009年：『大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について（審議のまとめ）』
 - 「日本の機関リポジトリ数は世界のトップクラス」
 - 「より一層充実推進させるべし，大学事業としての位置づけ，図書館での業務定着，維持管理」
- 2010年：『大学図書館の整備について（審議のまとめ）- 変革する大学にあって求められる大学図書館像』

2010.12『大学図書館の整備について (審議のまとめ)』より

機関リポジトリは、研究者自らが論文等を登載していくことにより**学術情報流通を改革**するとともに、その公開の迅速性を確保するものである。

それと同時に、大学等における**教育研究成果の発信**を実現し、社会に対する教育研究活動に関する説明責任の保証や、知的生産物の長期保存などを図る上でも、大きな役割を果たすものである。

2010.12『大学図書館の整備について (審議のまとめ)』より

大学としての情報戦略の下で、大
学図書館が、学内外の**知の集積
拠点**であり、そのアクセスの窓口と
して機能する

リポジトリをもつ理由

著者の発信支援

学際/複合領域・新たなコミュニティとの交流, 研究者としての可視性向上

Serials Crisis 対抗

雑誌高騰による学術情報寡占への反対

Open Access

灰色文献の可視化

会議録, シンポ資料, 各種報告書

機関の説明責任

教育, 研究の成果公開
一般社会への貢献

共同リポジトリ ShaReの報告書から



みんなで作ろうリポジトリ

ShaRe

(Shared Repository シェア)

国立情報学研究所学術機関リポジトリ構築連携支援事業
平成20-21年度委託事業領域2プロジェクト

「共同リポジトリ:モデルの構築と普及」



update 2010.4.14

目的

担当機関

平成20年度成果

平成21年度成果

共同リポジトリ一覧

成果物

連絡先



ND学術情報リポジトリ
構築連携支援事業

●目的

現在、日本で運用されている機関リポジトリは予算や人的資源の豊富な比較的大・中規模機関が数多くを占めていますが、今後、日本で生産される学術情報を網羅的に発信するためには、中小規模の学術機関でも機関リポジトリを構築し、運用することでオープンアクセスの裾野を広げることが最も大きな課題であると考えられます。中小規模の機関では、費用や労力をシェアできる共同リポジトリが機関リポジトリの構築・運用にとって有効な手段の1つであることは、先行例からも明らかです。本プロジェクトは、共同リポジトリのシステムと運用モデルの改善・構築、および担当者育成を行うことで、複合的な視点から共同リポジトリの構築・運用を支援し、共同リポジトリを全国規模で普及させることで、日本国内でのオープンアクセスの推進に寄与することを目的とします。

●担当機関

広島大学(主担当機関)
山形大学
新潟大学(平成21年度)
埼玉大学
文教大学(平成21年度)
福井大学(平成21年度)
岡山大学
広島工業大学
山口大学(平成21年度)
長崎国際大学
琉球大学(平成21年度)
北海道大学(DRF)
千葉大学(DRF)
金沢大学(DRF)
大阪大学(DRF)

●成果物

共同リポジトリプロジェクト報告書

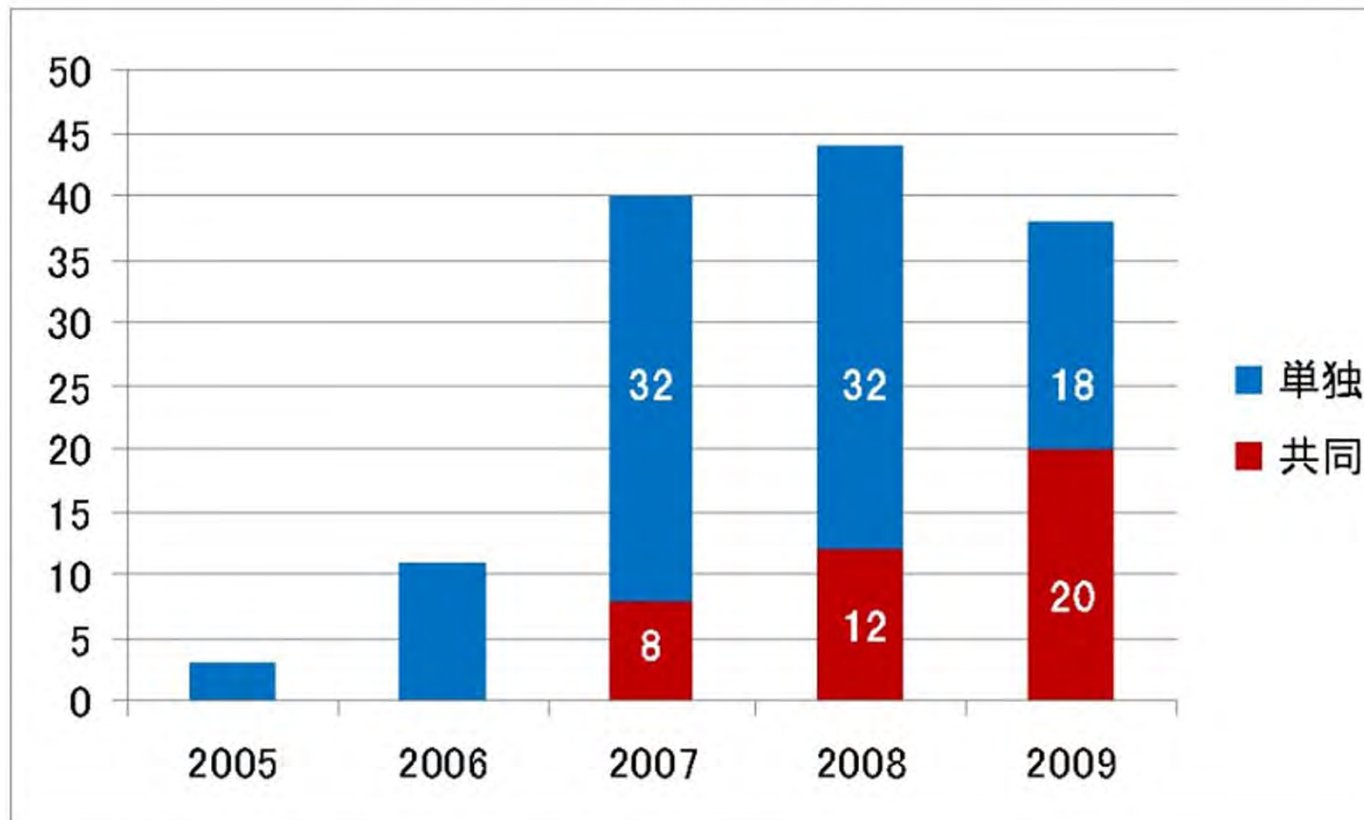
(地域) 共同リポジトリ

現在、国内に8つ(9つ目の青森県域
が試験公開中)

<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/share/share.html>

共同リポジトリの現在

図 1-1 機関リポジトリの年間構築数

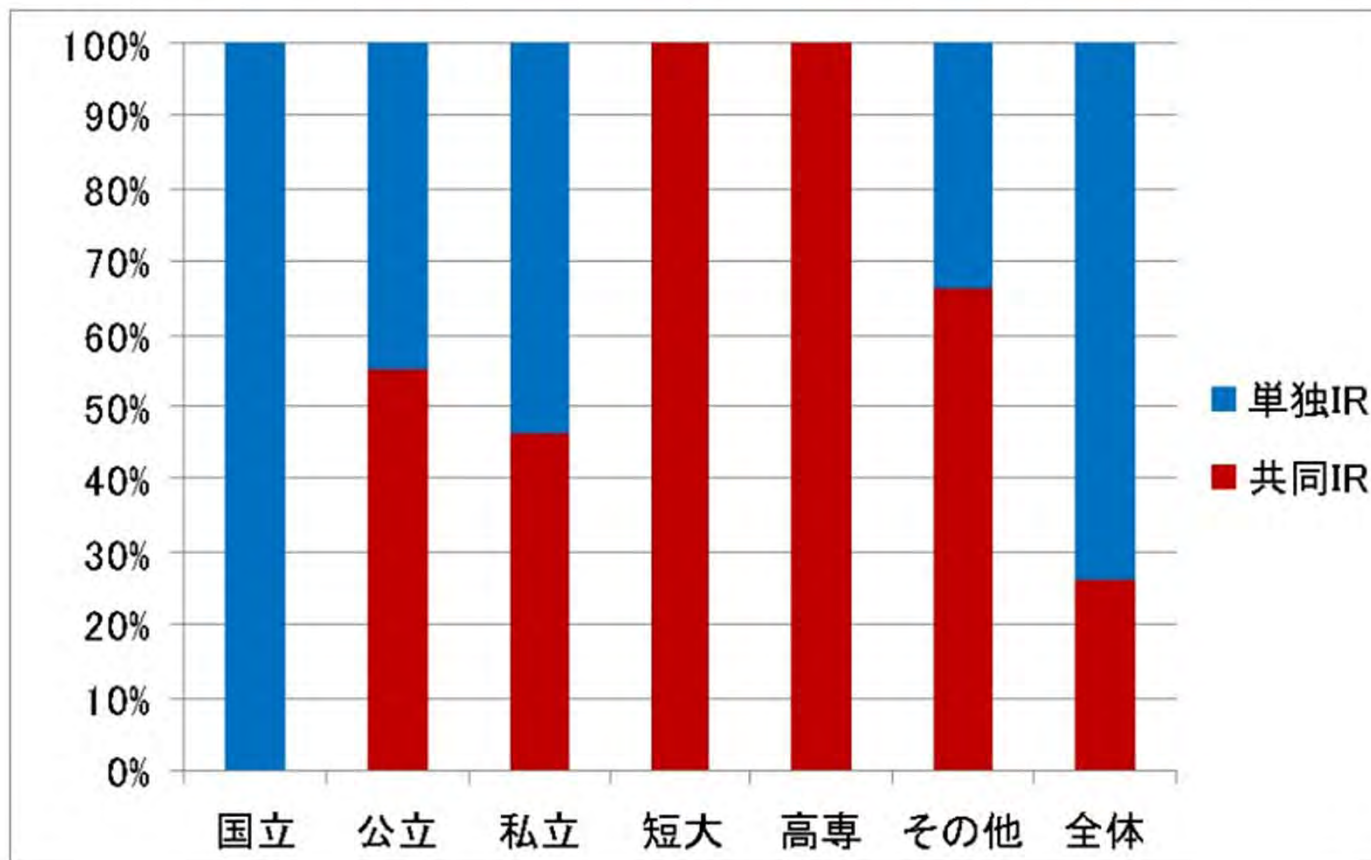


出典：IRDB コンテンツ分析システム <http://irdb.nii.ac.jp/> (2010 年 1 月 31 日現在)

共同リポジトリプロジェクト報告書 <http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/share/seika/ShaReReport.pdf>

共同リポジトリの現在

図 1-3 機関リポジトリ構築数に占める共同リポジトリの割合（設置種別）



重要なことは

- 持続する体制作り
- 県域のコミュニティ形成
 - － 勉強会
 - － メーリングリスト
 - － (リポジトリを含めて)何でも聞ける仲間をつくる
- そのコミュニティで解決しなければ, DRFへ

「ホスト機関に全部お任せ」は...無理

機関全体の事業
とするために



巻き込み作戦

- 他部局(事務方)を巻き込む
 - － 学務
 - － 研究協力
 - － 社会学連携・広報

巻き込み作戦2

- 教員・研究者を巻き込む
- 先生と最も近い場所＝**図書館カウンター**
 - － 千葉大学の例：リエゾンライブラリアン
 - － **ILL受付**データのうち、自機関関係をチェック
- 記念インタビュー
 - － とにかく、先生の話の聞きに出かけていく
- マスコミ・プレスリリースとの連動

京大の事例：賞をとったら...

京都大学学術情報リポジトリ
KURENAI 紅
Kyoto University Research Information Repository



京都大学 | 図書館機構

検索

Japanese | English

Google Custom Search

Kyoto University Research Information Repository >

京都大学学術情報リポジトリ(KURENAI)では、京都大学で日々創造される研究・教育成果(学術雑誌掲載論文、学位論文、紀要論文など)をWeb上で公開しています。
■収録論文: 8万件以上 ■収録雑誌: 90誌以上 ■論文ダウンロード: 年間80万件以上(2009年)

KURENAI update!  1.0

2011/02/10 京都大学人文科学研究所の学術誌3誌の最新号を公開

2011/02/08 『西洋古代史研究』をKURENAIから提供開始

2011/02/07 『英文学評論』をKURENAIから提供開始

2010/12/16 突発性難聴に新しい治療法。世界が注目する論文を、KURENAIでも

2010/12/09 『人間存在論』をKURENAIから提供開始

2010/03/05 KURENAI収録論文数が5万件を突破! / 【特別インタビュー】生命科学研究科・標葉隆馬さん(博士後期課程)

[過去のお知らせ](#)

研究科等一覧

下記のリンクより学位論文および研究科等で発行する学術雑誌や紀要にアクセスできます

> [ホーム](#)

ブラウズ

> [研究科等一覧](#)

> [タイトル](#)

> [著者](#)

> [キーワード](#)

> [日付](#)

> [アクセスランキング](#)

> [アクセス統計](#)

KURENAI Update

KURENAI Update!

受賞論文・
人気コンテンツ



益川名譽教授
ノーベル物理学賞
受賞論文

iPS細胞
論文著者原稿

京都大学学術出版会
京都大学学術情報リポジトリ

京都大学学術情報リポジトリ総合案内サイト(登録の方法など)

DSpaceに関する技術的なメモ

RSSフィード

KURENAI_update

2010年12月16日(木曜日)

突発性難聴に新しい治療法。世界が注目する論文を、KURENAIでも

カテゴリー: [General](#) - [dlkyoto](#) @ 13時28分52秒

京都大学学術情報リポジトリKURENAIで、2010年11月30日に京都大学がプレスリリースを発表した研究成果「突発性難聴に対するIGF1治療について」(医学研究科 中川隆之講師らの研究グループ)の論文の全文を公開しました。Biomed Centralサイトで現在「Highly accessed」と表示されており、世界的に注目を集めている論文であることがわかります。

突発性難聴の患者は国内だけで年間約3万5千人とされています。皆さんの周りにも、ストレスなどで急に耳が聞こえにくくなったという方がいるのではないのでしょうか。今回の研究成果も、有効な治療法として確立されることが期待されます。

Nakagawa T, Sakamoto T, Hiraumi H, Kikkawa Y, Yamamoto N, Hamaguchi K, Ono K, Yamamoto M, Tabata Y, Teramukai S, Tanaka S, Tada H, Onodera R, Yonezawa A, Inui K, treatment using gelatin hydrogels for glucocorticoid-resistant sudden sensorineural hearing loss: a prospective clinical trial. BMC Medicine 2010;8(1):76.
doi:[10.1186/1741-7015-8-76](https://doi.org/10.1186/1741-7015-8-76). (オープン・アクセス)
KURENAI URL: <http://hdl.handle.net/2433/131862> (オープン・アクセス)

今回の研究成果は、新聞各紙・報道でも広く取り上げられています。

- ・突発性難聴の再生医療、半数が症状改善 京大、日本経済新聞(Web)。2010.12.16
- ・薬剤入りゲル、突発性難聴に効果 京大講師ら試験、京都新聞(Web)。2010.12.16

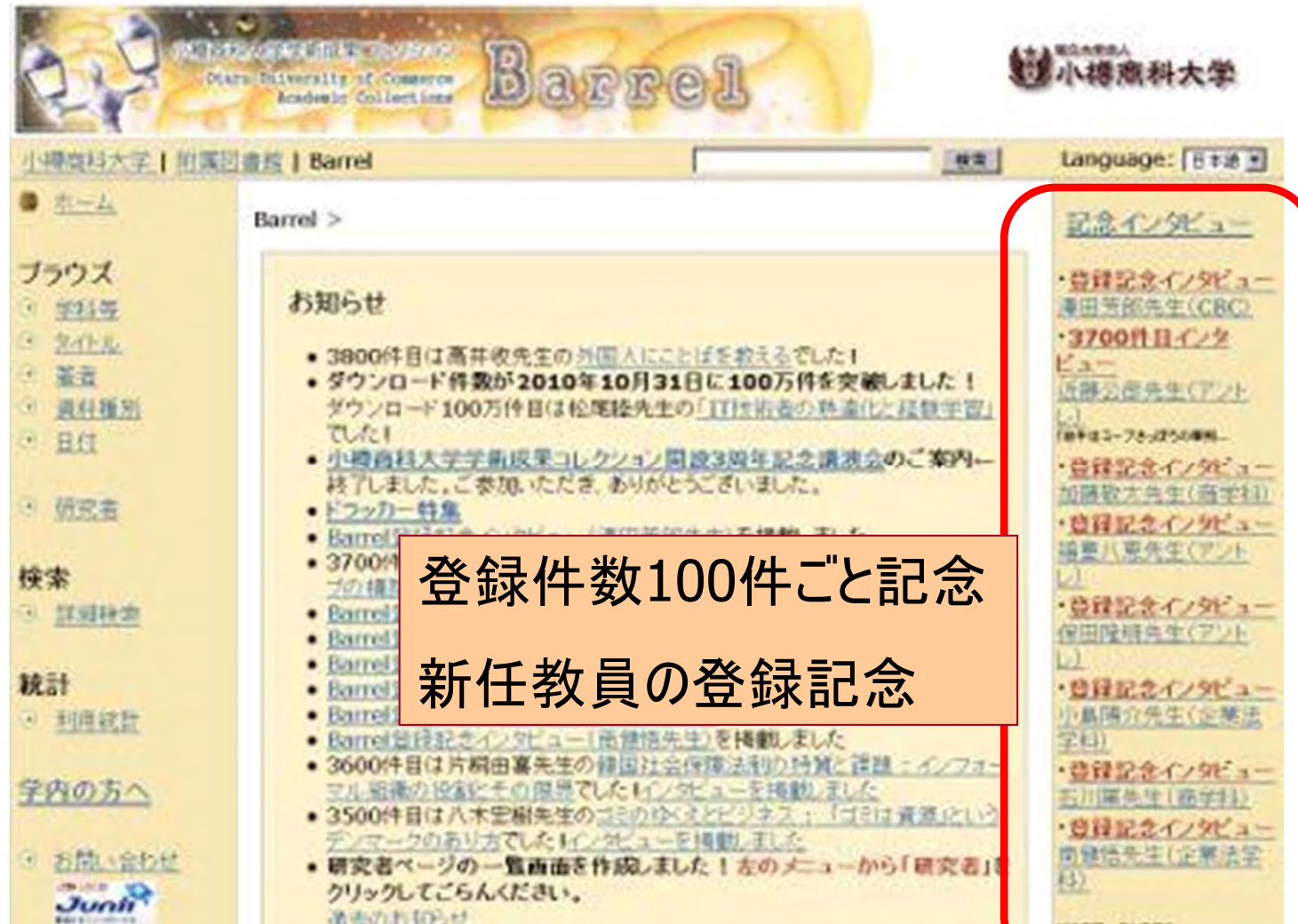
◆KURENAI(京都大学学術情報リポジトリ)

京都大学学術情報リポジトリ
KURENAI 紅
Kyoto University Research Information Repository

- 現在約8万件以上の京大研究者の論文を提供

RSS→twitter

小樽商科大の事例：インタビュー



インタビューページ

Barrel >

Barrel登録記念インタビュー

Barrelは、小樽商科大学研究者の皆さまからご寄贈いただいたご著作論文など研究成果を、図書館資料として大切に保存するとともに、Webで本文を無料公開して可視性を高めるお手伝いをするものです。

Barrel登録を記念して、2010年4月に小樽商科大学に赴任された企業法学科の南健悟先生にお話を伺いました。



Q: 商大の印象はどうですか？

まずは、坂を上ってくるのが大変ですね(笑)
母校の静岡大学も山の上にありましたが、小樽商大はそれと比べてもかなり辛いです。家からバス停までは遠いので、毎朝汗だくになりながら歩いて上っています。あと、商大は学生が元気ですね。サークルや部活をやっている人が多いですし、学内に限らず、学外でも積極的に頑張っているのに感心しています。

Q: 先生の研究内容について教えてください。

商法が専門ですが、その中でも会社法を研究対象としています。
会社法とひと口に言っても広いので細分化して述べると、「法令遵守体制の構築義務」、いわゆるコンプライアンスについて研究しています。株式会社の法令違反を抑制するためにどうしたらよいか、について主に考えています。
「法令遵守体制の構築義務」は会社の取締役役に課せられている義務であり、具体的にいえば、会社内の人々が法令に反しないようにする体制を構築するにはどうしたらよいか、そして違反があった場合に取締役役などのような対処をすればよいか等を分析するのです。

例として、ダスキン株式会社の経営するミスタードーナツが起こした事件を挙げてみます。ミスタードーナツで販売している肉まんに、食品衛生法で認められてい

ない添加物が使われていたという問題が以前、持ち上がったことがありました。裁判では、食品衛生法に反しない形で会社が業務をおこなえる体制があったかどうかについて争われたのですが、この際、取締役役がそのことを隠し通そうとしたことについて、裁判所は取締役役に厳しい判決を下しました。このような法的問題について研究しています。

Q: ご担当の講義について教えてください。

前期は、専門ゼミと基礎ゼミを担当します。
基礎ゼミは主に1年生ですので、図書館の使い方や、新聞記事を読んで文章を要約したり、専門書を読み、纏めて報告したり、といった内容の授業をしています。

北大の事例

観光学高等研究センター x 地域の共同研究の発信
プラットフォームとして活用

“Washipedia”



HUSCAP

Original Journal

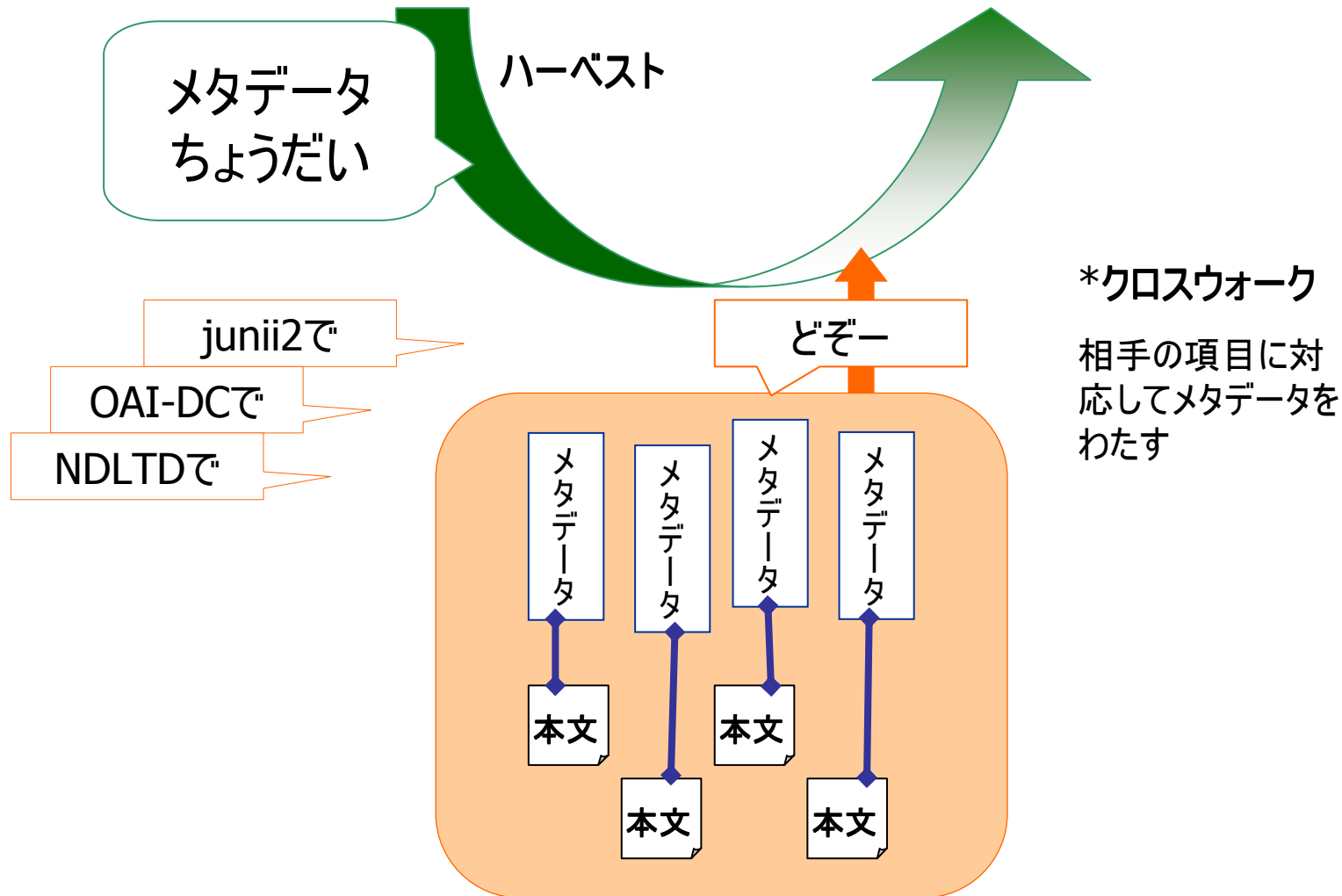


山村, 高淑『地域と研究者を結ぶプラットフォームとしてのリポジトリの可能性：研究成果を地域に還元するためのHUSCAP活用の試み』(2009.11.27第5回DRFワークショップ発表)より <http://hdl.handle.net/2115/39834>

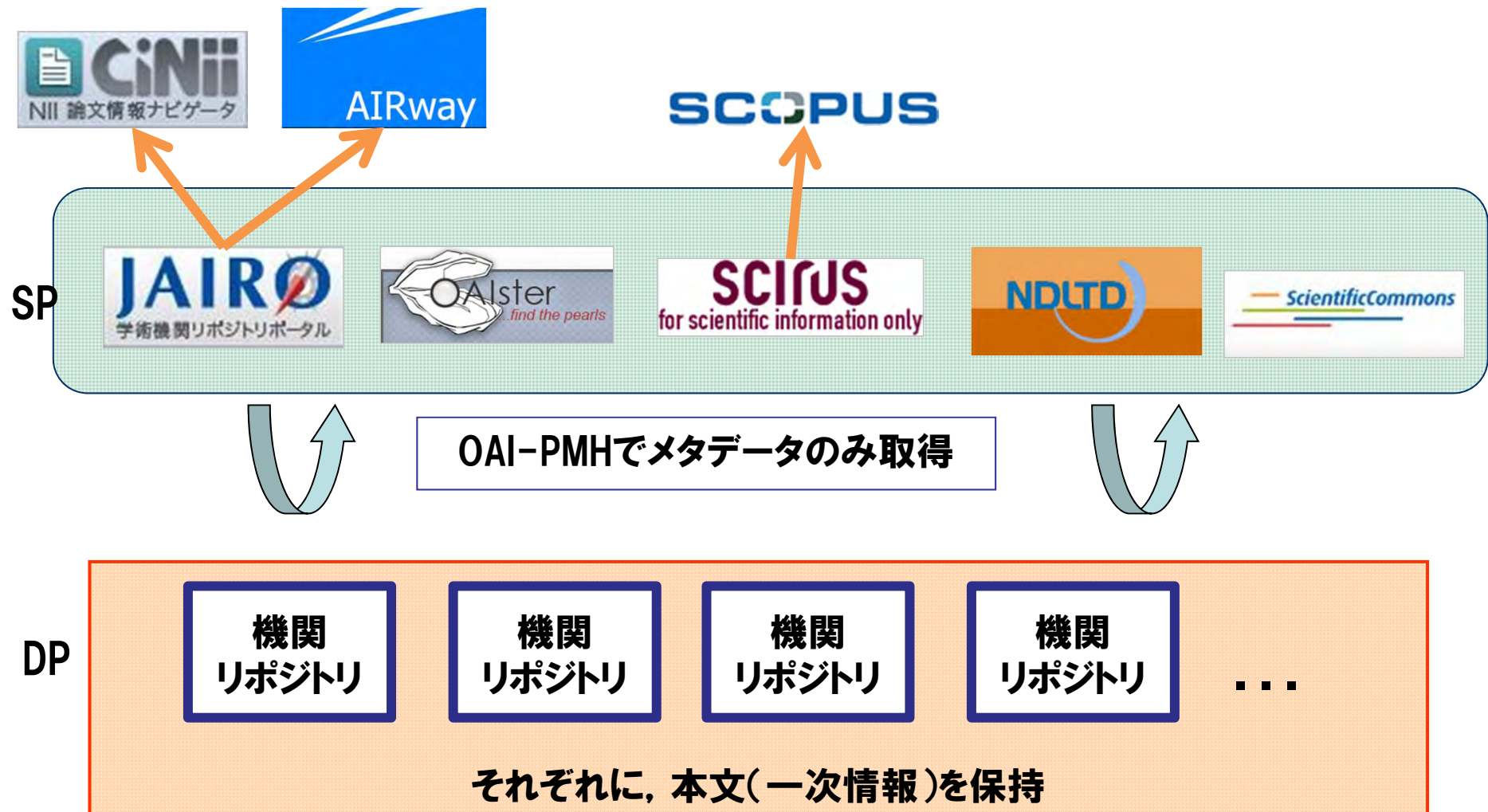
業務の実際



ちょっと、リポジトリのしくみ



ちょっと、リポジトリのしくみ2



著作権

ポイント:

- 誰が**著作権**を持っているか
- 誰が**登録**したかっているか

✓ SHERPA/RoMEO

✓ SCPJ

悩んだら

みんな仲間です

- とりあえず誰かに聞く
 - [DRF](#)
 - 隣の大学
 - [UstrCom](#) (匿名で質問ができる)
- その悩みは, みんな持ってる

「たのしい」はただしい

ご清聴ありがとうございました。